じんせい
吉岡　隆興　細木病院副院長・こころのセンター長
SOCIAL MEDICAL CORPORATION JINSEIKAI　社会医療法人仁生会細木病院グループ情報誌
2019（令和元）年
9
No.393

細木病院

こころのセンター
チーム医療で精神科医療を提供、認知症に強い病院へ

副院長・こころのセンター長　吉岡隆興

平成9年4月1日に細木病院から精神神経科が分離・独立した細木ユニティ病院が、このたび、平成31年4月1日に細木病院と再統合しました。再統合によって、細木病院は、精神科や心療内科はもとより、総合診療科、内科、外科、整形外科、小児科、歯科など、診療科目が増え、30科になりました。また、細木ユニティ病院の機能は、『細木病院こころのセンター』に引き継がれ、建物の名称は『細木病院北館』に変更されました。

◆こころのセンターの目標

①こころの病気（感情障害、神経症性障害、統合失調症など）の精神科医療を継続し、患者さんの社会復帰を可能にすること。

②認知症の方に対して、医療を行うとともに、家族に負担をかけない社会生活の維持を可能にすること。

③細木病院の他科（整形外科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、歯科など）と医療連携チームを構築し、高齢者の地域生活の継続（100歳まで）を可能にすること。

◆こころのセンターの主な医療機能

外来、在宅機能として、精神科外来、ほそぎ連携センター、精神科デイケア、重度認知症患者デイケア、外来作業療法、訪問看護ステーション、3つの精神障害者グループホームを中心に構成しています。ほそぎ連携センターは、患者サポート室（病気やケガで治療が必要となった患者さんへ医療費や福祉制度の相談、退院後の生活面でのお困りごとを支援する部署）、病床管理室（他の医療機関や施設からの入院相談やベッドコントロールなどを行う部署）、（医療機関との機能分化や連携を推進し、CT・MRI検査、各課の外来受診の予約に関する相談や調整を行う部署）の3部署からなり、病院機能における前方・後方支援を担っています。

入院機能としては、精神科急性期治療病棟（40床）、2つの精神病棟（108床）、医療療養病棟（36床）の4つの病棟で構成しています。

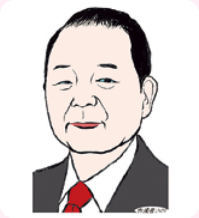
病院の特徴として、一般急性期から回復期、慢性期、在宅まで、身体疾患を含めた精神疾患によるライフステージや病気を問わず、さまざまなニーズに対応できます。また、再統合に合わせて、精神疾患と身体疾患による診療協力体制のスムーズな運用を目的に、電子カルテの導入や従来の精神科コメディカルスタッフである薬剤師、管理栄養士、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理士、事務員以外に、理学療法士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師、歯科衛生士、社会福祉士、音楽療法士などのコメディカルスタッフもおり、学術的多職種連携による病院チームを実践しています。

新たな運営体制により、『細木病院こころのセンター』は、病院の理念である**『患者さんからも、地域からも、職員からも"この病院でよかった"と心から思ってもらえる病院を目指します』。**

仁生会のホームページ https://www.jinseikai.kochi.jp/
細木病院のホームページ https://hosogi-hospital.jp/
三愛病院のホームページ http://www.sanai-hospital.jp/top/

時事エッセー

犬にはダメな食べ物



仁生会理事長
細木秀美

私は、小さい時から犬が大好きで、今まで100匹以上の犬の世話をしてきた。子どもの頃に祖母の飼っていた雑種の小型の可愛かった犬、父が飼っていたドイツの大型犬グレートデン、行政の専門機関が捕まえ大学での研究と実験に貢献してくれた多くの犬たち、高知へ帰省してからも、続けて自宅で、英国のウサギの狩猟犬ビーグル、最近、ずっと飼っているのは土佐産の豆柴犬。自宅で生まれた、今の犬は、16歳近い超高齢犬になって、認知症になって、フレイルになって、毎日ヨタヨタと暮らしている。

初めの頃の犬の餌は、我々の食べた残飯だった。最近では、もっぱらドッグフードを与えている。今でも、肉などの残飯も時々与えると、犬は大喜びする。昔から、犬には、玉ねぎを食べさせてはいけないといわれていた。玉ねぎなどのネギ科の植物には、「アリルプロピルジスルフィド」と呼ばれる硫黄を持つ成分があり、それが赤血球のヘモグロビンに作用して赤血球を破壊し、貧血になる。体重1kg当たり、玉ねぎ30グラム（中玉ならば6分の1程度）を、3日食べた犬の症状が重くなった報告がある。猫もネギ科の食物は要注意だといわれている。

ところが、もう一つ、私も知らなかった、多くの人が大好きな食べ物が、犬にはダメなものがある。それは、何とチョコレート。犬がチョコレートを食べると、数日から半日で、嘔吐や下痢を起こす。原因は、チョコレートに含まれている苦味成分の「テオブロミン」が、筋肉や脳、心臓に悪影響を与えるからだ。エビやカニ類は、火を通せば大丈夫といわれている。生のエビ、カニ類には、ビタミンB1分解酵素が含まれ、加熱すると分解されるからだ。私たちがごく普通に食べているキシリトールも、犬では低血糖を起こすことが報告されている。

犬と私たち人間は、生物学的には、全く違う種類の哺乳類であることを自覚して、気を付けて、犬や猫を可愛がりましょう。

仁生会

集合教育「人生百年時代を迎えて」開催

7月24日に細木病院、8月6日に三愛病院において、仁生会グループ職員に対して、仁生会教育委員会による集合教育が開催され、255名の職員が参加しました。講師は、細木秀美理事長が務めました。講義内容の概略を次に述べます。

わが国は超長寿社会で、平均寿命は女性88歳で世界1位、男性は79歳で4位である。100歳以上人口は、1967年には270名程度であったが、2017年には65,000名になっている。

人生は、山登りと一緒。人は老いる途中で、幾つもの峠を越して行く。来し方に感謝し、行く末の無事を祈ろう。そして、頂上に立つときが人生の終わり。

人は誰でも年をとる。年をとれば、病気になる、ボケるのは普通です。

人は寄り添って生きる。一人になると、ボケと孤独死が待っている。

人は120歳まで生きられる。60歳が還暦。120歳が大還暦。

日々の暮らし方として、「いつも感謝、ありがたいと思って暮らすこと」「動けなくなるような病気（脳卒中、心筋梗塞、骨折）をしないこと」「何でもいいから仕事を見つけること」「笑って暮らすこと（免疫力も高めます）」「足腰が曲がり、少しくらい痛くても歩くこと」を心がけることが大事。

ボケの予防方法としては、「生活習慣病（高血圧、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病）の予防」「頭を使うこと（カラオケに行く、絵や文章をかく、俳句や歌をつくるなど趣味を持とう）」。

人生の究極の目的、それは幸せ。幸せは、自分の心が決めるもの。

百歳までは元気で、PPK（ピンピンコロリ）で逝く。

紙面には書ききれませんでしたが、政府の「人生100年時代構想会議」の説明、リンダ・グラットン著「LIFE SHIFT」、五木寛之著「100歳人生を生きるヒント」の紹介もあり、今後の生き方の指針をいただいた講義でした。

（人事部長　金子忠司）

細木病院

第21回日本医療マネジメント学会学術総会に参加

7月19日～20日、名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）において、第21回日本医療マネジメント学会学術総会が開催されました。多職種の医療関係者が参加し、「私たちの働き方改革～良質で成熟した日本の医療をめざして～」をテーマに、一般演題（口演・ポスター発表）をはじめ、基調講演やメインシンポジウム、教育講演など全14プログラムからなる学術総会でした。細木病院からは、堀見忠司院長が医療の質のセッションのポスター発表の座長を務めました。また、4題の発表があり、活発な質疑応答や意見交換が行われました。

今回、企画課からは、高知大学の四国病院経営プログラム（文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム）で学んだ病院経営マネジメントやビジネスメソッド"OODA"（観察Observe、方向付けOrient、意思決定Decide、実行Act）を活用・実践した取り組みをもとに、組織運営をテーマに報告を行いました。発表5分、討論2分と短い時間の中で伝えるのは難しい部分もありましたが、この貴重な経験を生かし、今後の病院運営に貢献していきたいと思います。

（企画課長　門田紘和）

セッション	演題名	発表者
地域連携	病院から地域防災へ ～介護事業所だからできる防災 ・安心して暮らせる町づくり～	在宅部長 廣井三紀
医療の質	病院給食を委託から直営へ ～院外調理品（クックチル）活用と 1年後の評価～	栄養管理室長 橋本由佳
病院運営	職員満足度調査を活用した 職員のメンタルヘルス不調のリスク低減	医療技術部長 田中照夫
病院運営	"強い"事務部門"頼られる"事務部門 を目指して	企画課長 門田紘和

細木病院

多職種で考える地域連携緩和ケア研修会で講演

8月18日、高知医療センターくろしおホールにおいて、高知県と高知県在宅緩和ケア推進連絡協議会が主催する「多職種で考える地域連携緩和ケア研修会」が開催されました。当院化学療法・緩和ケア科部長の安藤徹医師、患者サポート室長の辻美知子ソーシャルワーカー、ポピー病棟（緩和ケア病棟）看護師長の私、片岡の3名が高知県健康政策部健康対策課より委託を受け、「緩和ケア病棟ってどんなところ？」と題して講演をさせていただきました。県では、地域特性を踏まえ、在宅医療および在宅緩和ケアを推進するため、病院、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、薬局等との連携の構築を目指しており、今回の研修は、地域医療連携に携わる職種、在宅緩和ケアに関わる職種の方が対象で、約90名が参加されていました。

安藤医師からは、緩和ケア病棟に入院される患者さんはどのような方か、どのような薬を使用し、どのような治療がされるかについて、辻ソーシャルワーカーからは、入院するための手続きや病院、在宅部門との連携方法などについて、私は、緩和ケア病棟におけるケアの実際や、患者さんだけではなくご家族も看護の対象であることなどの話をさせていただきました。質疑応答では、訪問看護中に困った事例や、どのような言葉がけをすればよいかなど、具体的な質問をたくさんいただき、緩和ケアに高い関心を持たれていることを感じました。

（ポピー病棟師長　片岡　健）

細木病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の
定める認定基準を達成しています。

三愛病院

第24回院内研究会開催

7月20日、三愛病院5階会議室において、院内研究会が開催されました。毎年1回、部署の取り組みや研究結果を発表し、自部署の研鑽と病院全体のレベルアップや活性化を目指し行っています。

今年度は5題の発表があり、日頃の業務に直結した技術・知識の向上や業務の効率化への取り組み、利用者の安全確保など、幅広い内容となりました。他部署の業務内容は知っているようでその意義や実行の大変さなど改めて実感することも多く、今後の多職種協働においてとても良い機会となりました。

訪問リハビリテーション三愛からは、重度視覚障がい者の自宅内移動に取り組んだ症例を発表し、優秀賞をいただくことができました。訪問リハビリでは、病院内と異なり、使用できる機器や道具に制限がありますが、実際の生活場面での評価や指導を生かすことのできた取り組みであったと思います。今後も利用者に応じた質の高いリハビリを提供できるよう励みたいと思います。

（理学療法士　田島一樹）

テーマ	発表者
総務課施設係の業務紹介 ～修理依頼書について～	総務課 大塚良介
当事業所のこれまでの取り組みと 今後の展開について ～できることからコツコツと～	あうん高知通所 澤谷友希
南海トラフ地震発生に備え 自分たちにできる事	グループホームいろは丸 荻野広美
重度視覚障がい者への 自宅内移動自立に向けた取り組み	訪問リハビリテーション三愛 田島一樹
当院看護師職の急変時対応の 知識・技術に関する調査と今後の課題	看護部教育委員会 酒井美枝

あうん高知

どんな時も自分らしく！『第1回ふくし総合フェア』に参加

7月12日～14日、高知市布師田のぢばさんセンターにおいて、第1回ふくし総合フェアが開催されました。昨年まで「ふくし就職フェア」、「ふくし機器展」として別々に開催されていたイベントを一つにし、"やさしさあふれる福祉んづけの3日間"とした催しです。福祉関係者だけでなく、一般県民の皆さんにもご来場いただける催しにと、たくさんのコーナーや研修会が企画されました。

あうん高知からも、高知県介護老人保健施設協議会の団体ブース運営のため、13日・14日の2日間、職員4名が参加しました。特に13日は、大人も子どもも参加して楽しめ、あわせて介護や老人保健施設のことを知ってもらおうと、高知県立高知東工業高等学校と創造広場アクトランドとのコラボを行いました。高知東工業高校は、自動車工作部が制作したジオラマ展示の協力を快く引き受けてくださり、部員の生徒たちがジオラマの中を走る電車を操作できるように対応してくれました。来場者は、細かく作られたジオラマの完成度に驚き、そのあとは電車の操作に夢中でした。アクトランドからは、レザーキーホルダー作りを提供していただき、世界に一つだけの作品作りができるお手伝いをしてくれました。レザーに刻印するため木槌を使った作業では、小さな子どもがケガをしないようにと少し気を使いましたが、作品を作っているときの集中力は大人以上で、心配は無用でした。

他の老人保健施設から参加した職員との交流や、福祉機器展示に刺激を受け、新たな情報を収集する機会となりました。

（副施設長　小松雅理）

お兄ちゃん、これなぁに

真剣!!

14日はエコたわしも配布

在宅ネットワーク通信

『まっこと出前講座』が高知家健康パスポート対象事業になりました！

高知家健康パスポートは、20歳以上の高知県民を対象とした健康づくり事業です。ヘルシーポイントシール（赤・緑・青）を2種類以上3枚集めると健康パスポート取得の申請ができ、健康パスポートを提示することでさまざまな特典を受けることができます。

「飲み薬の胃腸に対する影響」（緑）

細木病院の『まっこと出前講座』は、当院職員が地域の皆様の元に出向いて行う出張講座です。認知症予防や転倒予防、失禁予防など25講座あり、おかげさまで、昨年5月にスタートしてから延べ28講座をご利用いただいています。

このたび、高知家健康パスポートのグリーンシール（知る・参加する）の事業に15講座、グリーンシールとブルーシール（楽しく動く）の2種類の事業に4講座が対象となりました。『まっこと出前講座』の内容やお申し込みは、当院ホームページをご覧ください。

これからも、皆様の健康増進に貢献できるよう努めてまいりますので、よろしくお願いします。

（在宅部教育係長　井上加奈子）

「今日からできる転倒予防体操」（緑＆青）

まっことネット細木 ≪10月の予定≫

高知市上町5丁目4-1ピュアリフレビル1階

☎090-7788-1305

月～金（祝日休み）午前9時～午後4時

♠介護相談（相談無料）
月～金（祝日休み）午前9時～午後4時

♣まっこと講座
9日（水）、23日（水）午後3時～3時30分

♣防災教室「高知版・防災KYT」
25日（金）午後3時～3時30分

♣マインドフルネス
15日（火）午後3時～3時30分

♣生け花教室
4日（金）午後3時～3時30分

♣生きがい交流広場
19日（土）午後12時～1時

◆子育て広場「つみき」
1日（火）午前10時～12時

◆いきいき百歳体操
毎週月と木（祝日休み）午前10時～11時

「まっこと出前講座」のホームページはこちら

♥参加費は無料です♥詳しくはホームページでご確認を♥

細木病院こころのセンター 精神科デイケア・フレンズ通信 ハロー★フレンズ

ハンドメイドでアクセサリー作成中！

8月10日・11日に第66回よさこい祭りが開催されました。細木病院グループの踊り子として参加したデイケアフレンズのスタッフのために、利用者さんが素敵な髪飾りを作ってくれました。つまみ細工の技法で作られた飾りは、手作りとは思えない仕上がりで、他の踊り子さんからも「すごい！」との声をいただきました。

そんな手先の器用な利用者さんがたくさんいるデイケアフレンズには、『アットホームメイド部』というプログラムがあります。活動内容は、手芸での小物作りや、今人気のレジンやプラを使ったアクセサリー作り、ペーパークラフトから木工など幅広い作品作りをしており、みんなでおしゃべりも楽しみながら制作しています。

しかし、ただおしゃれな小物を作るだけの活動ではありません。集中力を向上させたり、作品作りをすることで達成感を得るなど、目的を持って取り組んでいます。また、会話をしながら行うことでコミュニケーション能力の向上や、手を使うことで脳の機能UPを目指しています。作った小物は、バザーなどで販売もしており、自分の作ったものが"売れた"ことで自信を持つことにもつながります。

今、秋の装いにピッタリなアクセサリーを作成中！ハンドメイド小物で秋のおしゃれを楽しみませんか!?

10月25日に開催される当院『こころのセンター秋まつり』でも販売予定なので、見かけたらぜひ手に取ってみてください。

（認定心理士　黒岩恵子）

細木病院在宅部は、高知県南海トラフ地震対策優良取組事業所の５つ星認定（最高評価）を受けています。

細木病院在宅部のブログ
https://ameblo.jp/hosogibyouinzaitakubu/

第66回よさこい祭り　細木病院グループよさこい踊り子隊　8年連続18回目出場

『共有（YOU）感』みんなで手を取り合い、支え合いながら！

ご存じですか!? ソーシャルワーカーからのミニ情報

「認知症の人と家族の会」「認知症カフェ」について

2035年には3人に1人が65歳以上となる、これまで経験したことのない超・超高齢社会を迎えようとしている中、高齢者が増えれば認知症になる人も増えることが見込まれています。

「認知症の人と家族の会」は、認知症の方やそのご家族、地域の方、医療・介護の専門職の方など誰もが参加することができ、認知症で悩んでいる人同士が交流し、認知症の方の介護や家族の精神的な悩み、不安などを軽減するための集いが開催されています。また、認知症に関するさまざまな相談に介護の経験者（認知症の人と家族の会の世話人）がお答えする、認知症の専門相談窓口も設置されています。

細木病院グループのデイサービスさくらんぼ、グループホームひだかの里や、NPO団体などで開催されている「認知症カフェ」では、飲食を安価で提供してくれるほか、手芸など趣味教室、簡単な体操などを行っています。家族も利用することも可能で、認知症を理解するための勉強会なども行っています。

「介護は自分一人で頑張るしかない」と思わずに、相談窓口や施設を上手に利用してください。

詳しい内容等につきましては、各市町村高齢者担当課、包括支援センター、または患者サポート室までお問い合わせください。

（患者サポート室長　辻美知子）

仁生会

高知県ワークライフバランス推進企業（次世代育成支援部門）に5期15年連続の認証更新!!

仁生会細木病院グループでは、"子育て支援"や"女性の活躍推進"の充実に取り組んでいます。その成果として、高知県から「高知県ワークライフバランス推進企業」（次世代育成支援部門）の認証を平成19年より受けていますが、このたび、令和元年8月1日付で5期15年連続となる認証更新を受けることができました。これからもずっと、職員の皆さんが働きやすい環境づくりに努めていきたいと思います。

（人事部庶務課　西田江見）

細木病院
こころのセンター
秋まつり

令和元年10月25日(金)

午前の部
10:00～1:00
1F

バルーンアート・事業所の出店
精神科デイケアや作業療法の紹介
作業療法での制作作品を展示・販売
多肉植物寄植え体験　などなど

フォルクローレ＆ラテン音楽
「アンデスの風を感じるコンサート」

午後の部
2:00～3:00
6Fホール

出演　アンデスグループ
WAYNO JAPAN

日高クリニック

〒781-2153 高岡郡日高村本郷滝ノ前7　☎0889-24-7785㈹
院長 松本和博（日本小児科学会小児科専門医）
日高クリニックのホームページ
https://hidakaclinic.jinseikai.kochi.jp/

外来担当	月	火	水	木	金	土
小児科 内科	松本	松本	休診	松本	松本	松本 (午後も診察あり)
整形外科						北岡 9:00～12:00 (隔週)

コスモス便り

日高クリニック無料送迎バス安全運行中！

日高クリニックでは、日高村の国道33号沿いを中心に、当院受診のための無料送迎バスを毎週月曜日と金曜日の午前中に各1便運行しています。

月曜日は西回りコース（九頭・岩目地・加茂・平野・鹿児・大和田・妹背）、金曜日は東回りコース（猿田・石田・大川内・田福・鍛冶屋・長山田・西田・六分坂・小村神社・江尻・中村）の各地区を周回しています。

平成26年1月の運行開始から早くも5年半が経過しました。その間、日高村を走っていた路線バスが廃線となり、当院の無料送迎バスは、当院受診の足として、さらに必要とされるようになりました。これまでの運行実績として、年間の平均利用者は延べ約2000人。5年間で延べ約1,000人の方にご利用いただきました。

運行開始当初よりご利用いただいている患者さんからは、「ほんと助かる」「いつもありがとう！」「これがないと受診に来れんがよ！」といったお言葉をいただく一方で、最近まで無料送迎バスのことを知らなかった患者さんからは、「もっと早く気づけばよかった！」「ずっと汽車で日下駅までできてから歩いて来てた」とのお言葉をいただき、周知不足を反省しています。

無料送迎バスのご利用にあたっては、当院受付までお気軽にお問い合わせください。前日までにご連絡いただければ、当日スムーズにご利用になれます。また、送迎コース沿いであれば、どこからでも乗車できます。お帰りの際だけでもご利用いただけます。ただし、当院休診日は運行いたしませんのでご注意ください。

これからも日高村や近隣地域の皆様の健康を第一に考えるとともに、受診しやすい環境づくりに努めていきますので、よろしくお願いします。

（事務長　尾原　団）

じんせい令和元年9月号（No.393）

外来担当医表

令和元（2019）年10月予定

仁生会 細木病院グループ

★内科初診時は、基本的に専門の内科ではなく、総合診療科または一般内科での診察となります。

細木病院

第二次救急医療施設（救急告示病院）

〒780-8535
高知市大膳町37
☎822-7211(代)

予約電話
873-3806
ただし、小児科は
820-6780

【健康管理センター】
予約電話
822-7264

（　）のドクターは兼務です。

診療科		月 A M	月 P M	火 A M	火 P M	水 A M	水 P M	木 A M	木 P M	金 A M	金 P M	土 A M
総合診療科		堀見 上田	品原			堀見		上田		丸山	熊谷	
一般内科		篠原 猪狩	細木秀 弘瀬 丸山	松田勇 品原	篠原	古賀	高知大 菅沼教授 猪狩 髙橋	髙橋 弘瀬	松田 猪狩 古賀	松田	弘瀬 篠原・古賀 (交代)	担当医 （2名）
専門内科	呼吸器内科		小林 (せき外来)	小林			小林(せき外来) (第2・4週)～15:30 新患のみ			小林	中山	
	消化器内科			中内		上田			中内	中内		
	循環器内科	高知大 瀬尾教授		細木信		細木信	中嶋	松村	細木信	西村		
	糖尿病・内分泌内科		西岡	丸山	熊谷 田口(甲状腺外来)	品原 篠原	丸山	西岡 (甲状腺外来)		西山 (甲状腺外来)		
	糖尿病センター	熊谷			西岡	西岡 中村	中村					
	腎臓内科				（西岡）					高知大 寺田教授		
小児科 予防接種は完全予約制	1診	堂野	新井	新井	新井	新井	堂野	中岡	新井	堂野	堂野 ～17:30	新井・堂野
	2診	細川・中岡 (交代)	堂野	齊藤	堂野	高知大医師	高知大医師 ～17:30	細川	中岡	細川	細川 ～17:30	小児科は土曜日午後も診察あり
	3診		中岡 (午前診療の場合)	竹内	竹内 ～15:00	中岡	中岡 予防接種	竹内	竹内 ～15:00	竹内	竹内 ～15:00	新井・堂野 13:00～15:00
	神経小児科 予約制		細川						細川			細川 (午後のみ) 13:00～15:00
	小児こころの外来 完全予約制			中岡	中岡					島崎	島崎・中岡	
外科		上地	尾崎 (乳腺・甲状腺)	尾崎		上地	上地・西村	尾崎	担当医	上地	堀見	尾崎
血管外科		西村				西村						
緩和ケア科 完全予約制				安藤	安藤			安藤	安藤	安藤	安藤	
痛み外来（ペインクリニック）				細川滋				細川滋 (第1・3・5週)		細川滋		
整形外科 午後の診察と土曜日は手術等により変更や休診になる場合あり	1診	北岡	担当医	山川	北岡	山川	担当医	北岡	高知大池内教授 予約のみ	北岡	北岡 ～15:00	高知大 喜安
	2診	山川	高知大 武政	寺西	高知大 泉	寺西		寺西	担当医	山中		寺西
	小児整形外科										山川	
脳疾患センター（脳神経外科）		栗坂	(手術)	栗坂		高知大 上羽教授		栗坂	栗坂	栗坂	栗坂	栗坂
耳鼻咽喉科		楯	楯	楯	(手術)	楯	楯	楯	楯	楯		楯
皮膚科・形成外科		野田	野田(手術) ～15:30			野田				野田		野田 (第3週)
泌尿器科				蘆田	蘆田			山本	山本			高知大医師
放射線科		耕崎志	耕崎志	高知大 南口 9:00～12:00	高知大 梶原 13:30～16:30	耕崎志	耕崎志	耕崎志	高知大 吉松	耕崎志	耕崎志	
セカンドオピニオン外来 完全予約制			(細木秀) 13:00～15:00									（栗坂）
内視鏡センター		中内 髙橋 古賀	中内 髙橋	髙橋 上田	中内 上田 髙橋	耕崎拓 髙橋	中内 古賀	中内 廣瀬 古賀	髙橋 上田	弘瀬 髙橋	中内 古賀	
健康管理センター (健診・人間ドック)		森下	松田勇	森下		森下	森下・弘瀬	森下	森下・弘瀬	森下		
	乳がん	尾崎		上地				上地			尾崎	
	子宮がん			濱脇								
こころのセンター	精神科心療内科 再診	吉岡	徳岡	橋田 10:00～	徳岡	吉岡	岡村	徳岡	橋田	永野	高知大 北代	吉岡 (第1・3週)
			永野	岡村 10:00～				岡村			高知大 須賀 (第2・4・5週)	橋田 (第1・3週)
	精神科心療内科 新患	徳岡		永野	岡村	岡村		吉岡 (もの忘れ外来)	徳岡	吉岡	永野	
	内科					松田幸			岡村(漢方外来) (第2・4週) 14:00～15:30			

こころのセンター

★初診の方は予約制です。(9:00以降に外来まで、お電話でご予約ください。)

☎802-3366(代)

三愛病院

★小児科の受付は、月・水・木・金は午後5時30分までです。(火曜日は午後5時で受付終了)

<訪問診療>
土曜日
9:00～14:00
担当医：大河原（おおかわら）

〒781-8136
高知市一宮西町1-7-25
☎845-5291(代)

診療科		月	火	水	木	金	土
総合診療科・外科		武市 / 武市 14:30～		武市 / 武市 14:30～	武市 14:30～	武市 / 武市 14:30～	武市
内科	1診	深田 (糖尿病外来) / 小野寺	深田 (糖尿病外来) / 細木秀 (肥満外来)	坂本 / 中川	中川 / 高知大 古味	中村 / 高知大 小笠原真	坂本
	2診	上村 / 中村	高知大 橿尾 / 深田 (糖尿病外来) 15:30～	高知大 小笠原史 (禁煙外来) / 上村 ～16:30	深田 / 小野寺	高知大 水田 (禁煙外来)	担当医：高知大 岩崎教授 (交代)
内視鏡			小野寺	小野寺	山崎		
循環器科 予約制							高知大 (第2週) 渡橋教授
整形外科 月・火・土は予約制		高知大 南場 9:30～12:00	高知大 和田 9:30～12:00	森田	森田	森田	高知大 泉 9:30～12:00
小児科		橋詰	高知大 浦木・森下 (交代)	橋詰	橋詰	橋詰	橋詰
耳鼻咽喉科		市川	市川	市川 / 市川 (第2・4・5週)	市川	市川 / 高知大 青井	市川・高知大 梶山 (交代)・葛目
皮膚科 予約制							高知県立大 (隔週) 池田教授
形成外科(床ずれ・美容) 予約制		三好 9:15～11:30	三好 9:15～11:30	三好 9:15～11:30		三好 9:15～11:30	
泌尿器科			山本			山本	
レディス外来			稙良				
もの忘れ・不眠外来 予約制						上村 (もの忘れ外来) / 須賀(第1・3週) 15:30～17:00 (不眠外来)	須賀(第2・4週) 9:00～12:00 (不眠外来)
放射線科		岩井	岩井	岩井	岩井	岩井	岩井
健診室		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	

発行人 細木秀美
発行所 高知市大膳町37 ☎(088)822-7211
印刷 株式会社高知新聞総合印刷